

2021年度 学校評価アンケート自己評価

2022年3月5日

建国小学校

2021年度の学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。

実施したアンケート結果をもとに、年度当初に出しました重点目標に照らし合わせ、教員の自己評価を行いました。以下の点を教員の共通認識とし、今後改善に努力していきたいと考えます。

今年度より、児童アンケートの設問を一部改編し、全学年共通にしました。

○韓国語（項目 **児童** 8, 20 **保護者** 14, 15)

韓国語に関して、9割以上の児童が、建国での学びが自分のためになっていると評価しました。韓国語の学習では1.2年のクラス編成が4年目を迎えました。建国独自の教材とICTを活用した体系的な学習が成果を上げていると読み取れます。また、アプリ学習、単語級数試験、校内イヤギ大会、絵日記大会に加え、今年度は韓国の学校とオンライン授業も実施しました。同学年との交流は新鮮で、韓国語を使う楽しさを体験できる良い機会となりました。また、5.6年の韓国語能力試験の合格率も92%（そのうち5級以上合格は20名）と学習の励みとなる良い結果でした。保護者アンケートでも9割強の方が学校の特色・取り組みを非常に高く評価していました。

○英語（項目 **児童** 9）

他の項目と比較すると、児童の英語学習の評価が74%と少し低い結果でした。しかしこれは、今年度より、英語の到達目標を引き上げ、英検対策や文法学習のカリキュラム編成をした結果と考えられます。昨秋、高学年に導入したアプリ学習Class Cardを、今年度は3年生から取り入れました。英単語を読む（音声）、訳語、マッチングゲームなど、それぞれに目標値を設定し、宿題にも出しています。英単語のテスト機能（自己採点）やスペリング（書き）は、難しく時間もかかるので、そのことに学習量が増えたと負担感を感じている児童がいることが考えられます。Class Cardを有効活用するため、慣れるまで学校でもサポートしながら、家庭にもアプリ学習の協力をお願いしていきます。

また高学年では英検の受検学年を昨年度の6年生5級から、今年度は5年生で5級に移行しました。結果、5年生5級の合格率は87.5%、6年生で4級を受験した児童5名の合格率は100%でした。（すでに3級以上合格児童を除く。）

ただ、可否結果が2月のため、アンケートを実施した1月時点では、個人の学習成果を実感として反映しにくかったかもしれません。

さらに12月のレシテーションコンテストに加え、毎月第2火曜日にEnglish Dayを設けました。児童と教員が朝の会や終わりの会などで、簡単な日常会話を英語で話し、積極的に使う機会を増やすためです。語学の成果は一朝一夕に出るものではないので、日々の学習の積み重ねと、より英語が身近に使える環境作りに今後も研鑽を積んでいきます。

○学習（項目 **児童** 2, 3, 4, 5, 6, 7 **保護者** 4, 5, 6, 7,）

9割近くの児童が授業は分かりやすいと感じ、宿題も自分の力でする習慣がついているようです。保護者アンケートでは、どの項目も9割以上の評価を得ましたが、昨年同様、児童の設問4「授業で自分の考えを伝え、意見を発表する」の評価が8割に届かず77%でした。ペアやグループで伝え合い、協働し考えを深める授業は増えています。しかし今年度も、意見発表や実験、観察、交流は感染予防に則った形で行いました。対面距離の確保、マスク着用の中、声や表情で正確に内容を伝えることの難しさがありました。話す以外の伝え方を工夫し、学習を進めましたが、「発表する」場面での制約と難しさが児童の実感として評価に表れたと考えられます。今後も児童一人ひとりが自信をもち「発信する力」を身につけるための研究を継続していきます。また、今年度は、筑波大学の協力のもと、平仮名、カタカナ、漢字の習得度の調査と分析を行い、個別結果をもとに補習を行いました。低学年や日本語が母語でない児童にとっての基礎学習を今後も進めていきます。

デジタル教科書や電子黒板、ipadは授業ツールとして日常的に活用できています。ICT教育を進める上で、今後は小学校でも1人1台の個人端末購入を検討していきます。

○人権（項目 **児童** 10, 17, 18, 19 **保護者** 12, 13）

道徳で「いのち」「人権」「福祉」に関する授業を行います。人権学習は、外部とはオンライン交流を主に、内容を工夫し例年に準じた学習ができました。2, 3, 4年生への「いのちの教育」は、子ども達が命の尊さや他者との関わり方、身体の成長、自己の内面について学ぶ特別授業です。外部講師の専門的で生きた授業は、子どもにとっても貴重な学習体験となっています。今後は、全学年で特別授業が実施できるよう、研究していきます。また、児童を取り巻く情報やSNS情報モラル教育についても研究し、系統的に学習する体制を整えていきます。保護者アンケートでも、学校と保護者との連携に関して9割以上の高評価でした。今後も、子どもの人権、学校生活の相談やトラブルに関しては、保護者、教員、スクールカウンセラーとの連携を状況に応じて進めていきます。

○学校生活（項目 **児童** 1, 11, 12, 13, 14, 15, 16 **保護者** 1, 2, 3, 8, 9, 10, 11）

9割の児童が、学校は楽しく、友達と仲良くきまりを守って、充実した学校生活が送れていると読み取れます。この一年も子どもたちは、基本的な感染予防対策をよく守って行動していました。学校生活での相談やトラブルも子どもと教員、家庭が協力して対応できていると読み取れます。これは、保護者アンケートでも学校のきまりや活動、安全教育、学習環境、相談対応などすべての項目で9割以上の高評価でした。

今年度は、運動会や学芸発表会、授業参観など限られた行事のみでしたが、保護者の方も参加していただき、子どもたちの学習意欲のやる気アップと笑顔につながりました。

今後も、児童が安心して過ごし、自分の能力を自由に発揮し高められるよう、教員が力を合わせて、より良い学校を作るために取り組んでいきたいと考えます。

保護者の皆様のますますのご理解・ご協力をよろしくお願いします。

2021 학년도 학교평가 설문조사 자기평가

2022년 3월 5일

건국초등학교

2021 학년도 학교평가 설문조사에 협조해 주셔서 감사합니다.

실시한 평가 결과를 바탕으로 학년 초에 안내해 드린 중점 목표에 따라 교원 평가를 실시하였습니다.

아래의 내용들을 교원 전체가 숙지하여 향후 개선에 도움이 되도록 노력해 나가겠습니다.

올해부터는 학생 설문조사의 질문 일부를 수정하여, 전 학년이 모두 학교평가를 실시하였습니다.

○ 한국어 (항목 학생 8,20 학부모 14,15)

한국어에 관해서는 90% 이상의 학생이 본교에서의 학습이 자신에게 도움이 되고 있다고 평가했습니다. 한국어에서는 1-2 학년 반 편성이 4 년제를 맞이하고 있습니다. 본교 교재와 ICT 를 활용한 체계적인 학습이 성과를 거두고 있습니다. 어플을 활용한 학습, 단어 급수 시험, 교내 이야기 대회, 그림 일기 대회 이외에 올해에는 한국의 초등학교와 온라인 수업도 실시했습니다. 또래 학년과의 교류는 흥미를 돋우고, 국어를 사용하는 즐거움을 실현할 수 있는 좋은 기회가 되었습니다. 또 5-6 학년 한국어 능력 시험 합격률도 92% (5 급 이상 합격자 수 20 명)로 좋은 학습 결과를 얻었습니다. 학부모 설문조사에서도 90% 넘는 분께서 학교의 특색 및 교육과정을 매우 높게 평가하였습니다.

○ 영어 (항목 학생 9)

다른 항목과 비교하면 학생의 영어 학습 평가가 74%로 조금 낮은 결과였습니다. 그러나 이것은, 올해부터 영어의 도달 목표를 끌어올려 영어 검정 시험과 문법 학습의 교육과정 편성의 결과라고 진단하고 있습니다. 작년 가을, 고학년에 도입한 어플 Class Card 를 올해에는 3 학년부터 도입했습니다. 암기, 리콜, 매칭 등 각각 목표치를 설정하여 숙제를 내고 있습니다. 영어 단어의 테스트(자기 채점)나 스펠(쓰기)은 어렵고 시간도 걸리므로, 학습량에 부담을 느끼고 있는 학생이 있다고 보여집니다. Class Card 를 효율적으로 활용하기 위해 학교에서도 익숙해질 때까지 지원할 예정이며, 가정에도 많은 협조 부탁드립니다.

또 고학년에는 영어 검정 시험의 수험 학년을 작년도의 6 학년 5 급을, 금년도에는 5 학년에 5 급으로 변경했습니다. 그 결과 5 학년 5 급의 합격률은 87.5%, 6 학년 4 급을 응시한 학생 5 명의 합격률은 100%였습니다 (이미 3 급이상 합격 학생은 제외).

다만 합격 여부 결과가 2 월에 나왔으므로, 설문조사를 실시한 1 월 시점에서는 그 결과가 반영되기 어려웠으리라 짐작됩니다.

또한 12 월의 레시테이션 콘테스트를 포함하여 매월 제 2 화요일에 English Day 를 마련했습니다. 학생과 교원이 아침 조회나 종례 등에서 간단한 일상회화를 영어로 대화하고 적극적으로 사용할 기회를 늘리기 위함입니다. 어학의 성과는 하루아침에 나오는 것이 아니기 때문에, 매일매일 반복하고 보다 영어를 가깝게 사용할 수 있는 환경 만들기에 전념하도록 하겠습니다.

○ 학습 (항목 학생 2, 3, 4, 5, 6, 7 학부모 4, 5, 6, 7,)

90%에 가까운 학생들이 수업은 알기 쉽다고 느끼며 스스로 과제를 해결하는 습관이 정착되어 있다고 응답하였습니다. 학부모 설문조사에서는 모두 90% 이상의 평가를 얻었습니다만, 작년과 같이 학생 설문 4 번 「수업으로 자신의 생각을 전하고 의견을 발표한다」의 평가가 80%에 이르지 못하고 77%에 그쳤습니다. 짝이나 모둠에 자신의 의견을 나누고 협동하여, 생각이 깊어지는 활동은 증가하고 있습니다. 그러나 올해에도 역시 의견 발표나 실험, 관찰, 교류는 감염 예방 수칙에 준수해 실시되었습니다. 대면 거리 확보, 마스크 착용 중 목소리나 표정으로 정확하게 내용을 전달하는 데 어려움이 있었다고 보여집니다. 여러 가지 대체적인 방안으로 수업을 진행했습니다만, 말그대로 「발표」에 대한 제약과 어려움으로, 학생이 느끼기에는 아직 부족했다고 판단됩니다. 이후에도 학생 한 사람 한 사람이 자신감을 가지고 「자신의 생각을 표현하는 힘」을 키워 나갈 수 있도록 노력하겠습니다.

또 올해에는, 筑波대학의 협력으로 히라가나, 가타카나, 한자 학습에 대한 조사와 분석을 실시하여, 개별 결과를 기초로 보충학습을 실시했습니다. 저학년이나 일본어가 모국어가 아닌 학생에 대한 기초 학습을 이후에도 계속하여 진행해 나가도록 할 예정입니다.

디지털 교과서나 전자 칠판, ipad 는 일상적인 수업 도구로써 잘 활용하고 있습니다. ICT 교육을 진행하는데 있어 효과적일 수 있도록, 1인 1대의 개인단말기 구입을 검토하고 있습니다.

○ 인권 (항목 학생 10, 17, 18, 19 학부모 12, 13)

도덕 수업에서는 「생명」, 「인권」, 「복지」 수업을 실시하고 있습니다. 외부와의 교류 및 수업은 주로 온라인을 활용하여, 예년에 준하는 학습을 할 수 있었습니다. 2~4 학년 「생명교육」은 아이들이 생명의 소중함이나 타인과의 관계, 신체의 성장, 자기 자신에 대해 배우는 특별 수업입니다. 외부 강사의 전문적이고 살아있는 수업은, 아이에게 귀중한 학습 체험이 되고 있습니다. 이후 전 학년에서 특별 수업을 실시할 수 있도록 검토하고 있습니다. 또, 학생이 접할 수 있는 정보나 SNS 윤리 교육에 대해서도 연구해 연속적으로 학습할 수 있는 체제를 구축해 나갈 예정입니다. 학부모 설문조사에서도 학교와 학부모의 협력에 관한 응답은 90% 이상의 높은 평가였습니다. 이후에도 학생의 인권, 학교 생활 상담이나 문제에 관해서 보호자와 교원, 상담사가 긴밀히 협력하여 상황에 맞게 진행시켜 나가겠습니다.

○ 학교 생활 (항목 학생 1, 11, 12, 13, 14, 15, 16 학부모 1, 2, 3, 8, 9, 10, 11)

90%의 학생이 학교는 즐겁고 친구와 사이 좋게 규칙을 지키며 충실한 학교 생활을 보내고 있다고 응답하였습니다. 올 한 해도 아이들은 기본적인 감염 예방 수칙을 잘 준수하였습니다. 학교 생활에서의 상담이나 문제도 학생과 교원, 가정이 협력해 대응할 수 있다고 판단됩니다. 학부모 설문조사에서도 학교 규칙이나 활동, 안전 교육, 학습 환경, 상담 대응 등 모든 항목에서 90% 이상의 높은 평가였습니다.

올해에는, 운동회나 학예 발표회, 수업 참관 등 다소 적은 행사였지만, 학부모님의 많은 관심과 참여로 무사히 진행될 수 있었습니다. 이후에도 학생이 안심하며 학교 생활을 할 수 있도록, 자신의 능력을 자유롭게 발휘하며 성장할 수 있도록, 교원 모두가 힘을 합하고, 보다 좋은 학교를 만들기 위해서 노력해 나가겠습니다. 학부모님의 많은 이해와 협력을 부탁드립니다.

2021年度 建国小学校 学校関係者評価

建国小学校 学校関係者評価委員会

委員長 金真理

日 時：2022年3月5日（土） 13時半～15時 本校 図工室

参加者：6名…教頭 黄裕錫先生 教務主任 李福子先生 PTA会長 金真理（小6）

副会長 徐瑛基（小2） 保護者 李奈奈（小6） 金莉那（小3）

教務主任の李福子先生に「学校評価アンケート 自己評価」を説明して頂きながら、アンケート結果と照らし合わせ、「学校関係者評価」を行いました。

1. 民族的なもの

民族教育に関して、9割以上の児童が、建国での学びが自分のためになっていると評価しました。韓国語の学習では1.2年のクラス編成が4年目を迎えました。建国独自の教材とICTを活用した体系的な学習が成果を上げていていると読み取れます。また、アプリ学習、単語級数試験、校内イヤギ大会、絵日記大会に加え、今年度は韓国の学校とオンライン授業も実施しました。同学年との交流は新鮮で、韓国語を使う楽しさを体現できる良い機会となりました。また、5.6年の韓国語能力試験の合格率も92%（そのうち5級以上合格は20名）と学習の励みとなる良い結果でした。保護者アンケートでも9割強の方が学校の特色・取り組みを非常に高く評価していました。

2. 英語

他の項目と比較すると、児童の英語学習の評価が74%と少し低い結果でした。しかしこれは、今年度より、英語の到達目標を引き上げ、英検対策や文法学習のカリキュラム編成をしていただいた結果と考えられます。昨秋、高学年に導入したアプリ学習Class Cardを、今年度は3年生から取り

入れました。英単語を読む（音声）、訳語、マッチングゲームなど、それぞれに目標値を設定し、宿題にも出してもらっています。英単語のテスト機能（自己採点）やスペリング（書き）は、難しく時間もかかるので、そのことに学習量が増えたと負担感を感じている児童がいることが考えられるようです。Class Card を有効活用するため、慣れるまで学校でもサポートしていただきながら、家庭でもアプリ学習の発展に協力したいと思います。

また高学年では英検の受検学年を昨年度の 6 年生 5 級から、今年度は 5 年生で 5 級に移行しました。結果、5 年生 5 級の合格率は 87.5%、6 年生で 4 級を受験した児童 5 名の合格率は 100%でした。（すでに 3 級以上合格児童を除く。）

ただ、可否結果が 2 月のため、アンケートを実施した 1 月時点では、個人の学習成果を実感として反映しにくかったかもしれません。

さらに 12 月のレシテーションコンテストに加え、毎月第 2 火曜日に English Day を設けたようです。児童と教員が朝の会や終わりの会などで、簡単な日常会話を英語で話し、積極的に使う機会を増やす努力をしていただきました。

3. 学習面

9 割近くの児童が授業は分かりやすいと感じ、宿題も自分の力でする習慣がついているようです。保護者アンケートでは、どの項目も 9 割以上の評価を得ましたが、昨年同様、児童の設問 4「授業で自分の考えを伝え、意見を発表する」の評価が 8 割に届かず 77%でした。ペアやグループで伝え合い、協働し考えを深める授業は増えてるようです。しかし今年度も、意見発表や実験、観察、交流は感染予防に則った形で行っていただきました。対面距離の確保、マスク着用の中、声や表情で正確に内容を伝えることの難しさがありました。話す以外の伝え方を工夫し、学習を進めてもらいましたが「発表する」場面での制約と難しさが児童の実感として評価に表れたと考えられます。今後も児童一人ひとりが自信をもち「発信する力」を身につけるための研究を継続していただきたいです。

また、今年度は、筑波大学の協力のもと、平仮名、カタカナ、漢字の習得度の調査と分析を行い、個別結果をもとに補習を行なってもらいました。低学年や日本語が母語でない児童にとっ

での基礎学習を今後も進めていただきたいと思います。

デジタル教科書や電子黒板、iPad は授業ツールとして日常的に活用できているようです。ICT 教育を進める上で、今後は小学校でも 1 人 1 台の個人端末購入を検討しているようです。

学力や語学力の向上についても、保護者からの評価は 9 割以上と高くなっていました。授業以外の補習や学習支援などを行なっている成果が出ていると考えられます。今後もこれらの学習を継続していただきたいと思います。

4. 人権的なもの

道徳で「いのち」「人権」「福祉」に関する授業を行っていただきました。人権学習は、外部とはオンライン交流を主に、内容を工夫し例年に準じた学習をしていただきました。2, 3, 4 年生への「いのちの教育」は、子ども達が命の尊さや他者との関わり方、身体の成長、自己の内面について学ぶ特別授業です。外部講師の専門的で生きた授業は、子どもにとっても貴重な学習体験となりました。今後は、全学年で特別授業が実施できるよう、研究していただきます。また、児童を取り巻く情報や SNS 情報モラル教育についても研究し、系統的に学習する体制を整えていただきます。保護者アンケートでも、学校と保護者との連携に関して 9 割以上の高評価でした。今後も、子どもの人権、学校生活の相談やトラブルに関しては、保護者、教員、スクールカウンセラーとの連携を状況に応じて進めていただきたいと思います。

5. 学校生活

9 割の児童が、学校は楽しく、友達と仲良くきまりを守って、充実した学校生活を送れているようです。この一年も子どもたちは、基本的な感染予防対策をよく守って行動していました。学校生活での相談やトラブルも子どもと教員、家庭が協力して対応できていると読み取れます。これは、保護者アンケートでも学校のきまりや活動、安全教育、学習環境、相談対応などすべての項目で 9 割以上の高評価でした。

今年度は、運動会や学芸発表会、授業参観など限られた行事のみでしたが、保護者の方も参加していただき、子どもたちの学習意欲のやる気アップと笑顔につながったようです。

手洗い、消毒、マスクの着用も当たり前のルールとして子どもたちは継続して守ってくれてい

るようです。先生方も、消毒作業やコロナでの対応と負担も多かったと思いますが、先生方の指導のおかげであると感じ、とても感謝しています。

6. 総括

全体的にかなりの高評価となりました。特に保護者からの評価は、ほとんどの設問で良い評価が9割を超えていました。そんな中で授業では自分の考えを伝えたり意見を発表したりという点で8割に届かず、今後はプレゼンテーションを実践する場を増やして欲しいと希望します。コロナで休校中であっても学習アプリを使うことで学びが続けられたことは、たいへん安心できました。また、学校再開後にはコロナ感染対策をしながら工夫を凝らし、安全に学習活動を続けていただいたことに対して、先生方にたいへん感謝しております。

来年度も同様の状況は続くと思いますが、この一年を通しての気づきや発想を有効に活用し、児童らがより良い学校生活を送れるよう取り組んでいただきたいと思います。